

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	アジア太平洋大学交流機構拠出金		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度・なし		担当課室	学生・留学生課留学生交流室		学生・留学生課長 渡辺 正実		
会計区分	一般会計		政策・施策名	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 14-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific: アジア太平洋大学交流機構)は、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生等の交流促進を目的とし、単位互換を普及するための単位互換方式の開発・活用などを行っている。このUMAPが行うアジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	UMAPにおけるアジア太平洋地域内の高等教育機関間の協力を推進するとともに、学生等の交流を増やし、高等教育の質を高めることによって域内諸国・諸地域の文化・経済・社会制度の理解を深めるため、学生交流の阻害要因となっている単位互換問題を解決するための「UMAP単位互換方式(UCTS(UMAP Credit Transfer Scheme))」の開発の実施を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0			
		計	2	2	2	2	2	
	執行額	2	2	2				
	執行率 (%)	100.0%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	UMAP(アジア太平洋大学交流機構)正会員国としての活動経費であるため、定量的な成果目標を示すことはできない。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進(UMAP単位互換方式による単位互換認定実績)		活動実績 (当初見込み)		受入114 派遣21 (受入70派遣10)	受入69 派遣78 (受入70派遣10)	調査中 (受入70派遣10)	— (受入70派遣10)
			算出根拠	※UMAP正会員国としての活動経費(拠出金)であるため、単位当たりコストは算出できない。				
単位当たりコスト	(円/)							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	拠出金	2百万円	2百万円					
	計	2百万円	2百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	本事業は、UMAP(アジア太平洋大学交流機構)が行うアジア・太平洋地域の留学生交流の取組に正会員国として参画するために必要な支援であり、国が実施すべき優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業の支出先は、UMAP日本国内委員会事務局であり、拠出先は妥当である。また、費用・用途については、正会員国としてUMAPの活動に参画するため経費として、真に必要なものに限定されている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	UMAP加盟各国との連携・協力の下、UMAP単位互換方式に基づく単位互換普及等による学生交流の推進を図るため、実効性の高い手段となっている。また、当初見込みを上回る、UMAP単位互換制度を利用した、学生の派遣・受入れが行われている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> UMAP加盟各国との連携・協力により、UMAP単位互換方式(UCTS)を利用した学生交流が行われている。引き続き、加盟各国の連携・協力により、UMAP単位互換制度方式の利用の促進・普及を図り、アジア・太平洋地域における学生等の交流を更に推進していくことが必要である。 UCTSの更なる活用促進のため、新たな枠組みの導入について検討を進めており、平成25年度中に大学等に対する説明会を開催予定。 執行面については、決算書において支出先・用途を把握し、拠出金が事業目的に従って適切に使用されているか確認を行っている。 					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<ol style="list-style-type: none"> 事業評価の観点：本事業は、アジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを行うアジア太平洋大学交流機構(UMAP)を支援する事業であり、長期継続事業の観点から検証を行った。 所見：本事業は、アジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを行うアジア太平洋大学交流機構(UMAP)を支援し、「UMAP単位互換方式」の開発・活用に寄与する事業等に必要な経費であり、UMAPの運営経費は、正会員国が負担しており、今後ともUMAPの活動を継続することが必要であることから、引き続き拠出金の用途等を検証しつつ、現在の予算規模を維持すべきである。 					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0414	平成23年	0177	平成24年	0198

文部科学省
2百万円

〔UMAPが行うアジア太平洋地域の留学生交流の国際的な取り組みを支援。〕



【拠出】

A. UMAP日本国内委員会
2百万円

〔加盟各国との連携・協力の下、UMAP単位互換方式に
基づく単位互換普及等により、地域内の学生交流を推進。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.UMAP日本国内委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	国際理事会出席旅費	1.5			
雑費	UMAP運営経費	0.5			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※拠出金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	UMAP日本国内委員会	地域内の学生交流を推進	2	-	-